



2022.9.1

VOL.
47

カラオケ使用者連盟は、カラオケを生涯学習として提唱するカラオケ設置店及び歌謡教室の全国組織です。

発行／一般社団法人 カラオケ使用者連盟
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11
目黒西口マンション2号館503
TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694
ホームページURL : <https://kua.or.jp>

2022年度定時社員総会を開催

コロナ禍、3年振りに関係者同士が懇談する場を提供

令和4年5月18日（水）、東京都新宿区のホテルウイングインターナショナルプレミアム東京四谷にて、「2022年度定時社員総会」を開催しました。一昨年、昨年は、新型コロナウィルスの感染拡大により実開催を自粛し、書面決議による総会となりましたが、今回はウイルス感染対策を徹底しての開催となりました。

総会冒頭には、高知県の中山氏より総会成立の報告と開会宣言が行われ、本総会の幕が開きました。今回議題となった、2021年度事業報告及び収支決算報告、2022年度事業計画案及び予算案、エリア統合と定款変更案について審議され、11月に沖縄県で開催予定の「全国生涯学習カラオケ大会2022in沖縄」、9月から実施される、市場活性化イベント「歌ってラッキーキャンペーン」への協賛等について検討と説明が行われました。その他、今年で4期目を迎えたJASRACとの業務協定について、更新内容の報告がありました。尚、議案は慎重な審議の結果、全て可決されました。

総会後には、役員をはじめ、日頃より当連盟の活動にご協力をいただいている関係者をお招きした懇談会が開催されました。来賓としてお招きした文部科学省 総合教育政策局生涯学習推進課 民間教育事業第一・第二係長 前原まさ子様より、「一昨年から新型コロナウィルスの感染拡大により、様々な変化や工夫を求められた大変な2年間だったのではないかと推察します。一方で、昨年、文部科学省後援で行われた全国生涯学習カラオケ大会2022in和歌山では、ウイルス感染対策を様々に講じた上で実施され、この成功は、今後のカラオケ大会の一つのあり方を示したものになったと感じました。新型コロナウィルスの影響が見通しの立たない中、苦境をチャンスと捉えていただき、前向きに業界を牽引する新しい取り組みを広げていただきたい」とのお言葉を賜りました。また、一般社団法人日本音楽著作権協会演奏部 部長 奥西 望 様よりご祝辞を頂戴した後、懇談となりました。

今回はウイルス感染防止対策の観点から飲食を控えたものとなりましたが、短い時間ながら久方ぶりに顔を合わせた関係者同士、コロナ禍での課題や今後の展開について意見が交わされる貴重なひと時となりました。

最後は、佐賀県の水田氏が来場御礼の言葉で締め括り、無事に本懇談会の幕を下ろしました。

全国11エリアにて平成2022年度定時エリア総会を開催しました

令和4年5月18日（水）の2022年度定時社員総会の議決を受け、全国11都市にて定時エリア総会を開催しました。各会場では2021度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、2022年度事業計画、同予算、エリア統合と定款変更案等について、説明が行われました。

2021年度事業報告

概要

会員へのウイルス感染防止対策の周知徹底とカラオケ市場活性化などについての取組みを実施しました。「全国生涯学習カラオケ大会」を和歌山県で開催し、「生涯学習としてのカラオケ利用」の提唱と共に、コロナ禍での開催について対策を実証しました。その他、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との業務協定に基づく音楽著作物適法利用について会員内外に対する啓発活動を行いました。

組織の拡充

全国カラオケ事業者協会の協力を得て、加入促進を図った結果、2021年度の新規入会員数は750、廃業に伴う退会は99、有効会員数は8,752となりました。退会件数はコロナ禍前に収まったものの、新規入会が減少した為、有効会員数は前年度から245減少しました。

事業推進

会員店舗に対して、業種別ガイドラインの周知徹底と実施宣言ステッカーの発行推進を図りました。また、昼カラ店舗でクラスターが多発した際には、店内での「常時マスク着用」を啓発するポスターを作成し、該当する会員店舗へ配布し感染の拡大防止に努めました。

9月25日に「全国生涯学習カラオケ大会 2021in和歌山」を開催。ウイルス感染防止対策として無観客のオンライン配信で行い、ガイドラインに則った場内感染対策と共に、コロナ禍でのカラオケイベント開催の在り方を内外に示しました。同大会は文部科学省と和歌山県の後援を得て「第36回国民文化祭・わかやま2021」「第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま」の応援事業として行われました。

会員店舗のカラオケ利用促進策として、2022年1月から3月末を期間に「歌ってラッキーキャンペーン」に協賛し、マスク着用歌唱の奨励と会員店舗の活性化を図りました。

広報活動

会員同士の情報共有と意思疎通を目的とした機関紙、第45号を9月1日、第46号を12月1日に発行しました。2021年度定時総会の決議報告、全国生涯学習カラオケ大会2021の開催報告、カラオケ利用促進キャンペーンの実施要項、業種別ガイドラインの改訂内容報告等を掲載しました。また、年末には問い合わせフリーダイヤルを記載した「2022年版カレンダー」を店舗会員へ配布しました。

音楽著作権啓発

音楽著作権の啓発チラシを作成し、会員の店舗及び教室へ配布しました。チラシデザインは一般公募し、音楽著作権の適法利用について会員内外へ啓発しました。また、JASRACの無許諾利用及び使用料滞納が判明した会員に対しては、個別に指導を行いました。

前年度においてJASRAC管理著作物の適法利用が認められた歌謡教室会員講師へは、模範講師の証となる「歌謡教室講師認定証」を発行しました。

イベント後援

会員同士の情報交換利用を目的に開設した当連盟公式ウェブサイトにて、イベント告知や結果報告を公開すると共に、別途申請のあった催しには、後援及び表彰記念品を進呈（1年度につき1回）する等、会員のイベント開催をバックアップしました。

その他

長年に亘って音楽業界へ貢献した会員を表彰し表彰楯を進呈しました。対象は、当連盟加盟歴が20年且つ、業務協定を結ぶJASRACの協力を仰ぎ、使用料を20年間一度も滞ることなく支払われた会員としました。今年度の対象は159名、2019年度からの累計は323名になりました。



祝辞を頂戴した
文部科学省 教育総合政策局 生涯学習推進課
民間教育事業第一・第二係長 前原まさ子様

ご祝辞を頂戴した
一般社団法人日本音楽著作権協会
演奏部部長 奥西 望 様



リモート参加となった、梶代表理事

懇談会風景

2022年度事業計画

事業指針

- 1) 業種別ガイドラインに基づく新型コロナウイルス感染拡大予防策の周知徹底に努め、対策を講じたカラオケ設置店と歌謡教室が如何に安全な場であるかを証明する。
- 2) 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」「カラオケを通した文化振興活動の推進」を趣旨に事業を展開し、会員店舗及び教室に役立つ活動を研究し実践する。
- 3) 「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

事業計画

- 1) 感染症の拡大防止と予防の徹底を図る。具体的には、業種別ガイドライン（カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン）の遵守を「ガイドライン実施宣言ステッカー」の実践を通して行う。
- 2) エリア統括責任者並びに都道府県会長を中心となり、会員拡大と組織強化を行う。
- 3) 沖縄県で「全国生涯学習カラオケ大会2022in沖縄」を開催し、カラオケを生涯学習とする方々へ成果発表の場を提供する。引き続き「第37回国民文化祭・おきなわ2022」「第22回全国障害者芸術・文化祭おきなわ大会」に応援事業として参画する。
- 4) 音楽著作権の思想及び制度の普及、発達に資する活動を行うと共に、JASRAC管理著作物の適正な利用について会員へ指導する。また、内外の歌謡教室に対して許諾契約手続きの必要性を浸透させる。
- 5) カラオケ利用促進を目的とするキャンペーンに協賛しカラオケ有料化」の啓発運動に努めると共に、会員店舗の売上げ向上に役立てる。
- 6) 歌謡教室会員の強化と「生涯学習としてのカラオケ」教育の確立を目指し、講師育成講座を開講する。
- 7) 会員が開催するイベントを応援すると共に連盟公式ウェブサイトの活用を勧める。
- 8) 会員相互の意思疎通を図るため、年2回、機関紙を発行する。
- 9) 会員意識の向上とフリーダイヤル利用促進に繋がるカレンダーを作成し配布する。
- 10) 「カラオケ利用団体協議会」をはじめ、関係する団体と情報交換を行い、趣旨を同じくする事業を共同で実施する。
- 11) 音楽著作物を適正に利用する歌謡教室会員へ管理団体と認定証を発行する。
- 12) 永年加盟会員に対して、長年に亘る音楽業界への貢献を称え表彰する。

本年度の活動は上記の通り、前年を踏襲する案とするものの、コロナ禍の状況を見極めた上で適宜内容を修正して行う。

エリア統合と定款の一部変更について

第3章 社員 (社員)

第17条 当法人成立後の一般法人法上の社員は、次の2種の会員の代表(以下「会員代表」という)とする。

- (1) 会員規程にしたがって選任された正会員及び賛助会員の代表(以下「エリア統括責任者」という)
- (2) 会員規程にしたがって選任された支援会員の代表(以下「支援会員代表」という)

【従前】

(社員の員数)

第18条 当法人成立後の社員の員数は、次の合計員数とする。

- (1) エリア統括責任者 1名以上11名以内
- (2) 支援会員代表 1名以上5名以内

【変更後】※下線部を変更

(社員の員数)

第18条 当法人成立後の社員の員数は、次の合計員数とする。

- (1) エリア統括責任者 1名以上9名以内
- (2) 支援会員代表 1名以上5名以内

《変更理由》

第18条(1)の変更案は、エリア統合(11エリアから9エリアに変更)によるもので、各エリアから1名選任されるエリア統括責任者の人数もこれに準じて変更したい。

尚、統合となったエリアは次の通り。

・従前:「関東エリア」「首都圏エリア」⇒ 統合後:「関東エリア」
(対象地域:茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川)

・従前:「近畿エリア」「阪神エリア」⇒ 統合後:「関西エリア」
(対象地域:滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫)

2021年度／決算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

【収入の部】

(単位: 円)

科 目	決算額	備 考
1.会費収入	28,632,700	
1)入会金	375,000	2021年度入会数 750件
2)正会員費	28,257,700	有効会員数 8,752件
2.その他収入	418	預金利息
3.当年度収入合計	28,633,118	

【支出の部】

(単位: 円)

科 目	決算額	備 考
1.事業費	15,872,270	
1)会議費	35,200	理事会
2)旅費・交通費	343,240	宿泊費、交通費
3)広報費	654,720	機関紙発行
4)事業推進費	2,178,970	全国生涯学習カラオケ大会
5)組織強化費	2,479,698	加入ツール、カレンダー、会員証
6)適法利用促進費	2,521,895	啓蒙チラシ、団体協力
7)市場活性化対策費	2,387,545	新規顧客獲得及び有料化運動
8)復興事業対策費	1,312,500	感染症対策費
9)会員イベント応援費	2,713,502	カラオケイベント後援
10)協賛支援金	1,245,000	全国カラオケ事業者協会
2.一般管理費	12,941,074	
1)職員給与手当	7,000,000	本部事務局員、アルバイト
2)事務用品費	104,758	一般事務用品
3)消耗品費	36,893	一般消耗品
4)通信費	1,410,849	電話、郵送費、機関紙発送費
5)印刷費	452,430	封筒、入会申込書
6)涉外費	258,658	慶弔費
7)運送費	2,216,717	送料
8)振込手数料	181,953	振込手数料
9)諸支出金	1,278,816	信販手数料・税理士報酬ほか
3.当年度支出合計	28,813,344	
4.当年度収支差額	-180,226	
5.前年度繰越額	32,584,672	
6.翌年度繰越額	32,404,446	

2022年度／収支予算

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

【収入の部】

(単位: 円)

科 目	決算額	備 考
会費収入	29,500,000	
1)入会金	500,000	500円×1,000店
2)正会員費	29,000,000	昨年度 28,257,700円
会費外収入	2,000,000	協力金
当期収入合計	31,500,000	
前期繰越額	32,404,446	
合 計	63,904,446	

【支出の部】

(単位: 円)

科 目	決算額	備 考
事業費	30,000,000	
1)会議費	1,000,000	総会、理事会他
2)旅費・交通費	1,000,000	宿泊費、交通費
3)広報費	1,000,000	機関紙発行
4)事業推進費	3,000,000	全国生涯学習カラオケ大会
5)組織強化費	3,500,000	加入ツール、カレンダー、会員証
6)適法利用促進費	4,000,000	啓蒙チラシ、団体協力
7)市場活性化対策費	3,000,000	新規顧客獲得及び有料化運動
8)部会組織費	2,500,000	歌謡教室増強促進費
9)会員イベント応援費	3,500,000	カラオケイベント後援
10)復興事業対策費	5,000,000	コロナ禍対応予備費
11)協賛支援金	2,500,000	全国カラオケ事業者協会、他
一般管理費	15,100,000	
1)職員給与手当	7,000,000	本部事務局員、アルバイト
2)事務用品費	500,000	
3)消耗品費	100,000	
4)通信費	2,000,000	郵送費、電話、サーバー代
5)印刷費	500,000	封筒、入会申込書
6)涉外費	300,000	慶弔費
7)運送費	2,500,000	送料(機関紙発送費含む)
8)諸支出金	2,500,000	信販手数料、振込手数料、報酬
当期支出合計	45,100,000	
予備費	18,804,446	
合 計	63,904,446	

「全国生涯学習カラオケ大会 2022 in 沖縄」を開催



「音源審査枠」として本大会の出場者を募集します



2022年11月12日(土)、那覇文化芸術劇場なはーと(小劇場)にて「全国生涯学習カラオケ大会2022in沖縄」を開催します。会場は、応援事業として参画する文化の祭典「第37回国民文化祭第22回全国障害者芸術・文化祭(美ら島おきなわ文化祭2022)」の開催地に準じ、沖縄県となりました。

当連盟が主催する本大会は、「カラオケを生涯学習」として取組むカラオケ愛好家の方々へ、1年間の成果発表の舞台を提供するものです。今回も昨年と同様に無観客開催とし、ウイルス感染対策を万全に行った上で、参加者の安全と安心を第一に実施します。尚、優秀者には「大臣賞」や「知事賞」をはじめとする各賞が贈られます。

この度、予選会に参加できない方へ、音源審査での予選を本部事務局にて承ります。音源審査を希望される方は、右記の「応募要項」にて奮ってご応募ください。

«応募要項»

内 容 : カセットテープまたは CD(※MD は不可)に、エンタリー楽曲を自分の歌声でフルコーラス録音し、「曲名、歌手名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号」を明記の上、下記事務局までお送りください。
※応募いただいたセットテープ、CDは返却しません。予めご了承ください。※予選通過者へは、開催の1ヵ月前までに事務局より直接連絡します。

条 件 : 年齢、性別、楽曲ジャンル、いずれも不問、但し、アマチュアの方に限ります。

予選応募、決勝出場ともに無料。※会場への交通費: 費等は自己負担となります。

締 切: 2022年9月26日(月)※当日消印有効



文化芸術の花 咲いわたり 美ら島おきなわ文化祭2022 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭



全国歌謡選手権大会 出場者募集のお知らせ

(公社)日本作曲家協会の65周年記事業として、来年7月に「全国歌謡選手権大会」が開催されます。当連盟はこの大会を後援します。

大会の出場者募集として、本年10月から1次予選の受付がスタートします。1次予選は、歌唱音源を郵送または、カラオケ店やカラオケボックスを通して、大会事務局へのエンタリーとなります。詳しいエンタリー方法については同封の大会案内チラシをご覧いただき、要項に沿ってご応募ください。尚、郵送応募の場合は、チラシ裏面の「エンタリーシート」を歌唱音源(CD-Rまたはカセットテープ)に添付してください。

是非、店舗のお客様や教室の生徒をはじめ、ご家族やご知人へもご案内ください。チラシは3枚同封していますが、足りない場合にはコピーしていただいて結構とのことです。

【1次予選】

応募受付開始: 2022年10月1日

受付締切: 2022年12月20日(必着)

【2次予選】

- 西日本大会: 2023年4月1日(土)
吹田文化会館 小ホール
- 東日本大会: 2023年4月22日(土)
代々木 けやきホール

【決勝大会】

2023年7月22日(土)

会場: 北とぴあ つづじホール(東京都北区)

主催: 公益社団法人 日本作曲家協会

会員が主催するカラオケ大会、発表会、コンテストなどのカラオケイベントを後援します。

イベント後援について

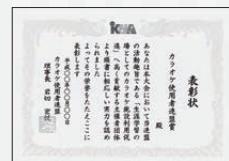
カラオケ大会・発表会など、カラオケイベントを開催される際には、集客と参加者や意欲向上策として、当連盟の後援名義をご活用ください。後援が承認されたイベントは、当連盟の後援名義を使用いいただける他、「カラオケ使用者連盟賞」として、表彰記念品を提供します(1年度につき1回限り無償)。後援を希望される場合は申請が必要です。当連盟ウェブサイト、または電話にて「申請書」入手し、必要事項をご記入の上、当連盟本部事務局「イベント係」までご提出ください。

※イベント開催にあたっては、ガイドラインに沿った感染症防止対策を実践いただき、万全な環境整備を行った上で実施願います。

申請内容に基づき、それぞれ「イベントの名称」、「開催日」を記載・刻印します。

*当連盟のウェブサイトを「イベント告知」や「参加者募集」、「開催後の報告」にご活用ください。トップページの「会員ページ」にログインの上、「投稿フォーム」にイベント情報を入力するだけで、自由に投稿できます。

表彰・記念品



表彰状 (A4 サイズ)



表彰カップ
(高さ26.5cm)

送付物の宛先について

会員への送付物は、お申し出がない限り「加入申込書」にご記入(会員登録)いただいた店舗・施設の経営者様宛に送付しております。個別の郵便受けが無い等、受け取りが困難で紛失の可能性がある場合には、ご自宅や法人事務所等へ送付しますので、送付物宛先の変更を希望する旨、事務局までご連絡ください。

尚、「歌謡教室」の会員については、入会受付の時点でご自宅を宛先としております。

<https://kua.or.jp>

検索

JASRACと4期目の業務協定を更新



▲3月17日に行われた調印式にて、JASRAC浅石理事長(右)と樋代表理事(左)

当連盟とJASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)は、音楽著作物の適正利用に関する業務協定を更新しました。また、4期目を迎えた今回の協定には、これまでの活動実績が認められ、JASRACより当連盟の活動を支援いただける内容が付加されました。

この協定により当連盟は、音楽著作権の普及活動を更に強化し、新たな取り組みを実施して参ります。会員の音楽著作物使用料滞納については、これまででも随時指導を行っており、音楽を適正利用する当連盟会員のJASRAC使用料には、団体割引(2割引)が適用されています。会員各位は支払いに遅れが生じないよう、今一度、支払い日(口座振替日)の口座残高をお確かめください。

尚、当連盟は、音楽を利用する全ての店舗や教室に、音楽の適法利用と音楽著作物使用料の未払い及び滞納防止を呼びかけております。

カラオケ利用団体協議会の設立について

今年4月、全国飲食業生活衛生同業組合連合会、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会、そして当連盟の3団体にて、「カラオケ利用団体協議会(KUGC)」を発足いたしました。

これは、社交飲食店(バー、スナック、居酒屋、レストランなど)の利用者代表として、2割以上の利用者比率を確保することを目的に発足に至ったものです。今後は参加団体へ、店舗の経営改善、音楽著作権の適正利用、健康増進に繋がる歌唱普及について、有益な情報提供に資する活動を行って参ります。

7月28日には、設立総会にあたる「第1回総会」がホテルウイングインターナショナルプレミアム東京四谷で開かれ、文化庁著作権課やJASRACの来賓も列席賜りました。



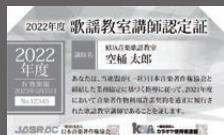
2022年度「歌謡教室講師 認定証」を発行しました (今年度のカード色は「赤」です)

歌謡教室会員へ、「2022年度 歌謡教室講師認定証(カード)」を発行しました。この認定証は、当連盟と(一社)日本音楽著作権協会との業務協定に基づき、前年度の音楽著作物利用許諾契約を適正に履行された当連盟の会員講師を対象に発行されるものです。発行された方は、「音楽を適法利用する講師の証」として、教室開催時はもとより、普段から携帯いただきご活用ください。

現在、お手元に昨年度(2021年度)の歌謡教室講師 認定証をお持ちの場合は、本部事務局宛へご返還ください。ご返還無き会員は、来年度(2023年度)認定証発行の対象外となります。

尚、本件に関するご不明点等につきましては、当連盟本部事務局までお問合せください。

※「歌謡講師 認定証」は歌謡教室会員の方のみにお送りしております。店舗・施設会員にはお送りしていませんのでご了承ください。



カラオケ利用促進キャンペーンに協賛します 実施期間: 2022年9月1日(木)~10月31日(月)

9月1日から10月末までの2ヵ月間、カラオケ市場活性化イベント「歌ってラッキー キャンペーン」が実施されます。当連盟はこのキャンペーンに協賛し会員店舗のカラオケ利用促進を図ります。

このキャンペーンは、カラオケで「1曲歌う価値」を再認識いただくことを目的に実施されるものです。キャンペーン期間中は「カラオケチケット」を使って1曲200円で歌っていただいてみては如何でしょう。「豪華賞品、または5,000円分の利用券が当たる企画になっているので、お客様へキャンペーンポスターでご案内いただき、集客イベントとしてご活用ください。

店舗会員へは、「実施ツール」をお送りしています。同封の「説明書」及び「キャンペーンポスター」をご覧いただき実施ください。不明点等があれば、当連盟本部事務局までお問合せください。

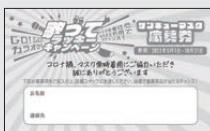
キャンペーンの「実施ツール」について

「実施ツール」は店舗・施設会員を対象とするもので、歌謡教室会員にはお送りしておりませんので予めご了承ください。



①キャンペーンポスター (サイズ:B3用紙1枚)

店頭または店内等に掲示してキャンペーン期間中の来店促進を図りましょう。また、下部の空欄は、お店からのメッセージや自店賞などを自由に記入する為のスペースです。お店独自の賞を加えて当選本数を増やすなど、参加意欲を高めましょう。



②サンキューマスク応募券(10枚)

マスクを着用して歌っていただいたお客様1名に対して1枚お渡しください。
お客様には、「名前、連絡先」を記入いただき、回収した応募券には店舗印を押印ください。
「カラオケチケット」と同様に、本キャンペーンの応募券になります。



③カラオケチケット(10枚)

お客様がカラオケで歌う際に、リクエストチケットとして使用していただけます。
チケットを5曲分使い切り、残った上部半券(記名欄)が「応募抽選券」になりますので、お客様から預かり、締切日までに本部事務局へお送りください。また、チケット1枚(5曲分)を1,000円(1曲あたり200円)で販売すれば売り上げにも繋がります。更に抽選で見事当選されたお客様には、キャンペーン主催者より当選店のみで使える「利用券5,000円分」が贈られるので、再来店も期待できます。



④啓発ポスター(1枚)

店内などに掲示して、キャンペーンや「カラオケ有料化」の告知にご利用ください。「あっ、うたわなきゃ」のキヤッココピーがカラオケの利用を促します。

※ツールの追加購入をご希望の際は、お取引のカラオケ業者様、または当連盟事務局までお問合せください。

《本部事務局》☎03-3495-5695

フリーダイヤルをご利用ください

コール

しようコール



0120-56-4056

(業務時間は祝日、年末年始を除く、月曜から金曜の午前10時から午後6時まで)

名義変更・移転・閉店など、当連盟への各種ご連絡は通話料無料のフリーダイヤルがご利用いただけます。※退会をご希望される場合は、必ず会員(経営者)より直接事務局へご連絡ください。

携帯電話・PHSからは
03-3495-5695